

## みんながヒーローに



植田 健二

株式会社開発工営社 代表取締役社長

9月の台風18号の影響で発生した鬼怒川の氾濫は、土木技術者として衝撃的で記憶に新しくあります。北海道においても豪雪や暴風雪、土砂災害、風水害が近年頻繁に発生しており、道民の安全・安心な生活を脅かしています。

一方、北海道新幹線の新青森・新函館北斗間の開通が平成28年3月26日に迫り、東京駅から新函館北斗駅までが、乗り換えなしの約4時間で移動可能となります。雄大な自然や豊富な食材を有する北海道では、観光業界を中心とした経済活動の活発化に対する期待が高まってきています。

こうした中で弊社は、洪水防止を目的とした河川整備や社会活動活発化を目指した道路・橋梁整備などの新規事業のみならず、河川構造物や道路構造物、公共建築物等の既存ストックの長寿命化及び維持管理コスト縮減のための点検・補修計画・補修設計に取り組んでおります。また、法面崩壊や軟弱地盤、防雪等の防災関連や環境保全、構造物耐震設計、無電柱化などの事業にも参画しております。そして、これらの一つ一つの活動をこつこつと積み重ねていくことは、道民の安全・安心な生活を支えるとともに経済活動の活発化につながり、道民の皆さんがより一層活躍できる社会になっていくもの、すなわちみんながヒーローになるものと信じております。

国民の高齢化・人口減少や財政ひっ迫が進み、複雑化・多様化する情勢のもと、道民や発注者の期待や要求も高まってきていますが、おかげさまで弊社は9年連続で北海道開発局局長表彰を受賞することができましたことは、少なからず社会貢献できていることの証として自負しております。

弊社はこれからも、個別の技術力はもとより、それらを融合した総合技術力の研鑽を進めてまいります。そして、社会資本整備を通じて国民の生命と財産を守り、一億総活躍社会に向けた安全・安心な地域社会に貢献するという誇りを持ち、北海道をはじめとする国民の皆様から必要とされる会社になるという目標のもと、地域及び発注者の「よきパートナー」として取り組んで参ります。

今後とも、弊社をご愛顧下さいますよう、お願い申し上げます。